

京都の伝統産業 Traditional Industries of Kyoto

かつら



かつらづくりは1枚の金属板を叩いて成形し、役者の頭に合わせることから始まる。ひとりひとり頭の形が異なるため、人の数だけ違う型ができる。植毛は、大半は人毛が使われている。生え際の1、2本の具合で全体の感じが変わり、最も神経を使うところである。大きく映像用と舞台用に大別される。

制作：京都市

京都の伝統産業 Traditional Industries of Kyoto

かつら



かつらづくりは1枚の金属板を叩いて成形し、役者の頭に合わせることから始まる。ひとりひとり頭の形が異なるため、人の数だけ違う型ができる。植毛は、大半は人毛が使われている。生え際の1、2本の具合で全体の感じが変わり、最も神経を使うところである。大きく映像用と舞台用に大別される。

制作：京都市